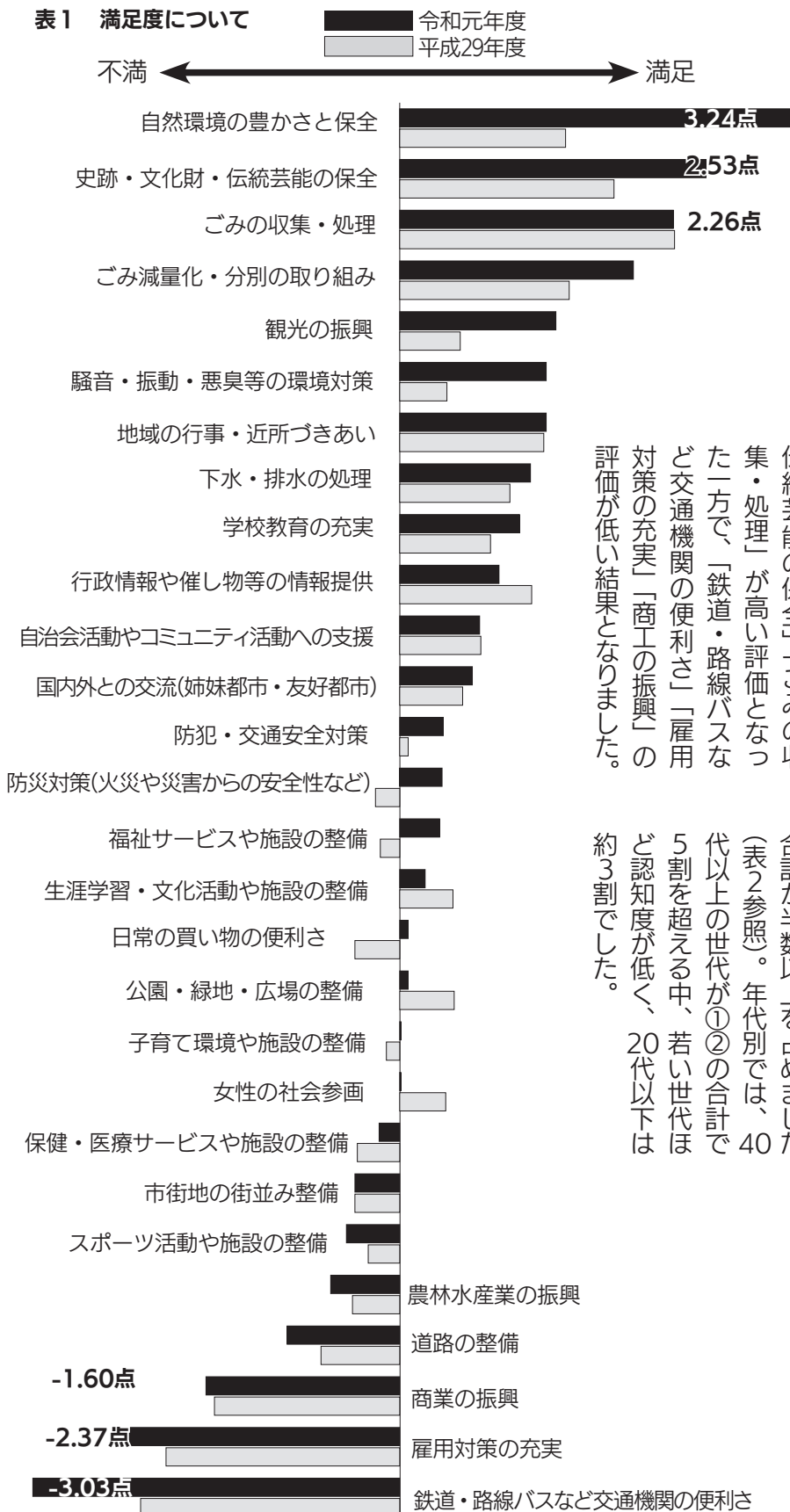


市民意識アンケート調査の結果を報告します

市民の皆さんが市政についてどのように考えているのかを知るため、無作為に5,000名を抽出し、市民意識アンケート調査を実施しました。ここでは、全調査項目のうち、特に関心が高いと思われる項目についてお知らせします。なお、詳しい調査結果は市ホームページを参照ください。

くわしくは 秘書広報課 広報広聴係 ☎21-5135

表1 満足度について



◆満足度調査の結果

自然環境や生活基盤など、各

対象：市内在住の満18歳以上
方法：郵送・インターネットによる記入調査
期間：6月下旬～7月下旬
配布数：男女各2,500名
回収数：1,610件(男性677名、女性901名、性別無回答32件)
回収率：32.2%

◆調査の概要

分野にわたる28項目の中から、満足度を5段階で評価してもらい、その結果を数値化しました(表1参照)。

数値は、「満足10点」「やや満足5点」「普通0点」「やや不満-5点」「不満-10点」の合計を全回答者数で割った値です(上段は今回の調査結果、下段は前回行われた平成29年度の調査結果)。

満足度は、「自然環境の豊かさ」と保全」「史跡・文化財・伝統芸能の保全」「ごみの収集・処理」が高い評価となつた一方で、「鉄道・路線バスなど交通機関の便利さ」「雇用の充実」「商工の振興」の評価が低い結果となりました。

◆長期財政の収支見通し調査の結果

平成30年度に、市は2030年度までの12年間の収入と支出の見込みを推計し、8年後に赤字になることを公表しました。この長期財政の収支見通しの認知度の調査では、①「内容を含めて知っている(9.0%)」と②「くわしく知らないが、10年以内に赤字に陥る見通しであることは知っている(48.1%)」の合計が半数以上を占めました(表2参照)。年代別では、40代以上の世代が①②の合計で5割を超える中、若い世代ほど認知度が低く、20代以下は約3割でした。

表2 長期財政の収支見通しの認知度

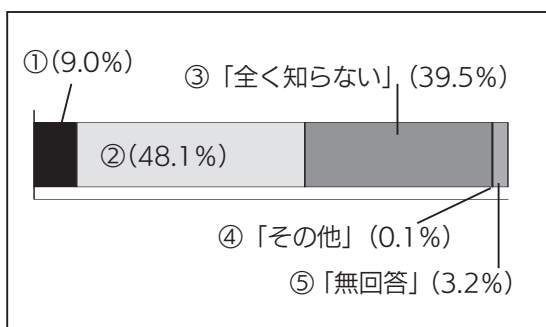
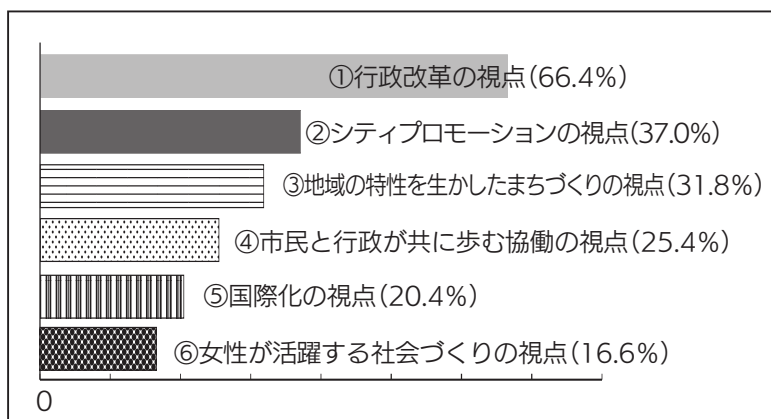


表3 10年後の市の将来に特に重要と思う視点について



◆市の将来に重要と思う視点の結果
 将来、日光市のまちづくりに重要と思う視点を①健全な行政経営を確立する行政改革の視点 ②ふるさと日光への愛着と誇りを育むシティプロモーションの視点 ③地域の特性を生かした拠点をつなぐまちづくりの視点 ④市民と行政が共に歩む協働の視点 ⑤世界に飛翔^{はたたく}く国際化の視点 ⑥女性が輝き活躍する社会づくりの視点の6つの中から選択する質問では、①行政改革の視点が6割を超える高い割合となりました(表3参照)。

消防団員・支援団員を募集しています

消防団員は特別職の非常勤公務員で、さまざまな仕事をしている人たちで構成されています。市内では、今市・日光・藤原・足尾・栗山の5つの消防団が、各地域を災害から守るために活動しています。しかし、消防団員が全国的に不足しています。また、地域によっては団員の高齢化が進んでおり、団員の確保が急務となっています。大切な人や自分の住んでいる地域を災害から守るため、皆さんの力が必要です。

	消防団員	女性団員	支援団員
入団資格	市内在住または勤務する18歳以上で心身ともに健康な方		消防団OBまたは消防職員としての経験を有する方で、心身ともに健康な方。所属する分団部の管轄区域内に居住し、直ちに出勤できること
主な活動	火災時の消火活動、火災予防運動、地震や風水害などの予防・警戒活動、通常点検や各種訓練など	防火パレードでの広報や救急救命講習の指導、また、イベントなどでの来場者への対応など 災害時には、住民の救護活動や避難誘導・情報収集、現場での広報および警戒活動	火災時の消火活動、自然災害を含む大規模災害発生時の地域住民の避難誘導など
報酬	年53,000円(新入団員)と、火災・風水害・その他の災害の防御、救援等に従事した場合(1回につき3,000円)、火災・風水害・その他の災害の予防、警戒、訓練等に従事した場合(1回につき2,000円)が支給されます。また、一定期間以上勤務して退団した場合、退職報償金が支給されます		年10,000円と火災・風水害・その他の災害の防御、救援等に従事した場合(1回につき3,000円)、火災・風水害・その他の災害の予防、警戒、訓練等に従事した場合(1回につき2,000円)が支給されます。また、一定期間以上勤務して退団した場合、退職報償金が支給されます
公務災害補償制度	災害や訓練中に負傷した場合の補償制度が設けられています		

くわしくは

